104-240

問題文

去勢抵抗性の前立腺がんの治療に用いられる放射性医薬品として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1. クエン酸ガリウム(⁶⁷ Ga)注射液
- 2. ヨウ化ナトリウム(¹³¹ I)カプセル
- 3. イットリウム(⁹⁰ Y)イブリツモマブチウキセタン(遺伝子組換え)注射液調製用
- 4. 塩化インジウム(111 In)注射液
- 5. 塩化ラジウム(²²³ Ra)注射液

解答

問240:1,4問241:5

解説

問240

選択肢1は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが

標的組織にある程度残留し、放射線により腫瘍をたたくことが期待されます。「速やかに消失する方が望ましい」という記述は適切ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

骨転移のある去勢抵抗性前立腺癌に用いられるゾーフィゴは、 α 線を放出する 223 Raが用いられています。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

半減期で数年だと、体に入って十年単位で放射線を放出することになります。ある程度 の時間で腫瘍をたたいた後は必要ないため、長すぎると考えられます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問240 の正解は 1.4 です。

問241

選択肢 1 ですが

クエン酸ガリウム注射液は、悪性腫瘍や炎症性疾患等の診断に用いられます。

選択肢 2 ですが

131 I は、腎機能診断薬として用いられます。

選択肢 3 ですが

イブリツモマブ チウキセタン(ゼヴァリン)は、条件を満たすリンパ腫に用いられます。

選択肢 4 ですが

 111 In は骨髄疾患診断薬として用いられます。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問241 の正解は 5 です。 参考)